



無病息災の願いを込めて

春の七草出荷スタート！



「春の七草」の県内有数の産地、豊田市松平地区で、JAあいち豊田セリ・七草部会（部会長：安藤源／部会員：5戸）が春の七草を詰め合わせた「松平の七草粥セット」の出荷を始めます。

栽培面積は約1ヘクタールで、今年は25,000パックを主に名古屋、豊田、岡崎の各市場へ出荷する予定です。

七草がゆは、1年の無病息災と長寿延命を祈って正月7日の朝に食べるもの。古くから伝わる年中行事の一つで、ビタミンやミネラルが豊富な青菜を摂ることでお正月のご馳走やお酒で疲れた胃を休ませ、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うとも言われています。

また、春の七草のパックとは別に、宅配で七草と地元のお米「ミネアサヒ」を詰め合わせた「七草がゆセット」（1箱1,500円＜送料・消費税込＞）の発送も行っており、今年は約600箱の発送を予定しています。



▲1月7日に向け、正月から出荷作業が始まります（一昨年の様子）

取材対応日

日時 令和4年1月3・4日 10時～14時

（12時～13時休憩）

場所 JAあいち豊田 松平営農センター
豊田市松平志賀町丸山5-1

※取材を希望される場合は、あらかじめご連絡をお願いします。

※当日はパック詰めと、出荷作業をご覧いただけます。

※撮影場所を限定する場合があります。



●お問い合わせ先：JAあいち豊田 松平営農センター 担当者 河合
住所 豊田市松平志賀町丸山5-1
電話 (0565) 58-2222

